

Application for participation

Associated Schools Project (ASP) For Promoting International Education

「ずっと好き みんなの町 吉田方」

— 吉田方の地域・自然を「知り」、「親しみ」、「守る」 —

Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校ではこれまでも、校区を流れる「豊川」とのかかわりを中心として自然に親しむ・自然を守るといった地域を題材とした環境教育の学習活動を実践してきた。また、継続的なものではないが、校区探検や校区見学の中で地域の史跡・歴史を探究する学習活動も行ってきた。そこでこれらの、地域の教育的資源の有効な組み合わせを再考し、よりよく活用することで地域から学ぶ持続可能な地域社会づくりの担い手を育む教育（E S D）を推進しようと考えた。

現在、2年生では親子ふれあい活動として豊川でのシジミ採りを実施し、豊かな自然およびその環境保持の大切さを学んでいる。また、4年生では、リバーウォーク（豊川の堤防沿いを学年で歩きその様子を観察する活動）を行ったり、水道等の学習から生活用水にかかわる豊川の大切さについて学んだりしている。このような豊川とかかわりのある活動を行う際には、豊川河川清掃（豊川クリーン活動）を実施している。これらの学習では、地域における自然や史跡・施設、そこにかかわる人たちを知ることになり、地域への興味関心を高めることに効果をあげている。

このことを「持続発展可能な開発のための教育」（E S D）の推進に結び付けていくために、これまでの教育課程を見直し、生活科・総合的な学習の時間等を主として、行事活動の見直しや校区との連携活動も関連付けたE S Dアクティビティプログラムを策定し、実践を行っていくことにした。

このE S Dアクティビティプログラムをもとに継続実践していくことで将来にわたって地域のよさ・自然を知り、地域への親しみと地域を大切にしていこうとする思いを育てていくことができると考えている。

Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校ではE S Dの取り組みを地域に目を向けた教育活動からすすめたい。実際、学校が行う探検・見学などの教育活動においても家庭で話題として広がっていく事例も多く見られる。また校区には親子三世代以上で親しむことのできる伝統的行事や文化的な史跡等もあり、家族の会話からそれらへのかかわりや親しみを深めている。

そこで、地域の自然・文化・歴史を知り、親しみ、これらを伝承し守っていくといったことを主の目的とし、その実現のために本校では以下の3つの活動において各目標を掲げる。

(1) 知る活動・・・吉田方校区の自然環境、施設、人、歴史などについて知る。

①校区探検、見学・・・対象：人、物、事（1．2．3．4．5年）

②環境学習・・・豊川を主体にして（4年）→リバーウォークを行う。水生生物について知る。

③吉田方の歴史学習・・・豊川と関連して（6年）→社会科、総合的な学習を通して吉田方校区の歴史を知る。

④防災学習・・・津波に関する事など（全校）→特別活動、総合的な学習、道徳を通して行う。

1年生から行っている校区探検・見学に系統性をもたせ、吉田方校区がもつ特徴を人、物、事の面から学年の発達段階に沿って知ることができる。

(2) 親しむ活動・・・吉田方校区での自然体験や福祉施設でのふれあい、祭りなどの地域行事への参加により親しみをもつ。

- ①親子ふれあい活動・・・シジミとり等（2年）→豊川の河川敷で親子共に、シジミとりをし、家庭で味わう。
- ②豊川マラソン（全校）→12月に河川敷でマラソン大会を行う。
- ③昔遊びの伝承（1年）→老人会の方から昔の遊びを教えていただき、一緒に遊ぶ。
- ④祭りへの参加・・・神楽・太鼓（希望者）→普段から太鼓等の練習をし、祭りに参加する。
市のフェスティバルに学校（クラブ）から参加する。
- ⑤福祉施設訪問（5年）→デイサービスを行う福祉施設を5年生が訪問し、お年寄りとふれ合う。

各学年がそれぞれの目的のもと、校区を探検・見学・体験などの学習活動を通して、地域の方とふれ合い、自然や施設を大切に活用しようとする気持ちを育てる。また、地域の伝統ある行事への参加を通して地域文化への親しみをもつ。

(3) 守る活動・・・吉田方の自然環境や伝承文化、人々の命を守ろうとする意識を高める。

- ①豊川クリーン（6年）→中学校と連携して豊川河川敷をきれいにする活動を行う。
- ②津波講座（全校）→「防災特区」に指定されている地域の特徴を知り、防災意識を高める。
- ③津波避難訓練（保小合同）→津波に備えた訓練を行う。
- ④交通パレード（小中合同・地域連携）→地域の交通安全を願い、啓蒙活動を行う。
- ⑤校区防災訓練への参加（地域連携）→小学生が積極的に関わられるようにする。

地域をまきこんで、吉田方校区の自然環境や施設、伝承してきた行事やそこに住む人々の命を守ろうとするための活動を全校または、学年で推進していく。

Exection（プロジェクトの実施）

本校では、前述のとおり ESD で育みたい力を、地域の歴史・文化・自然を知り、親しみ、これらを伝承し守っていくことを目指し、「知る」「親しむ」「守る」の3つの活動を通して学習を進めていく。その学習を深めることで、吉田方校区の地域の特徴を深く知り、人々のつながりを大切にし、自然環境・伝承文化を守ろうとする意識を高めていく。それに加え、校区が「防災特区」に指定されている地域（大きな津波が来た時には沈む恐れが高い地域）であることから、**防災意識を高める**ことが必須となる。「防災特区」であることを再認識し、地域と共に今できることを考え行動できるようにする。これは、地域にかかわりながら活動できる持続可能な社会づくりの担い手を育てる教育であるにとらえている。

自分たちの地域を「知る」「親しむ」「守る」の3つを軸に進める学習によって、今日的な課題を把握し、解決に向けて行動できる力の育成や、地域を大切にし、持続可能な社会をつくる資質や能力を育てていくことができると考える。

(1) 活動を進めるためのESDアクティビティプログラム（4年生の例）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
理科	季節と生き物（春）			季節と生き物（夏）			季節と生き物（秋）			季節と生き物（冬）		
社会			水の学習			郷土に伝わる願い				県と私たちの町の発展		
特活		学級新聞作り					親子ふれあい	昔の遊び集会		防災学習	学級新聞作り	
体育									豊川マラソン			
行事	避難訓練					津波訓練（小保合同）				避難訓練		
総合	「大好き豊川」 豊川探検 リバーウォーク		上流ダムの様子	課題追究		発表	今までの私これからの私 ドリームマップ作り		1/2 成人式		未来の自分メッセージ	

(2) 活動構想図

- ・ 校区探検、見学・・・対象：人、物、事
(1. 2. 3. 4. 5年)
- ・ 環境学習・・・豊川を主体にして(4年)
- ・ 吉田方の歴史学習・・・豊川と関連して(6年)
- ・ 防災学習・・・津波に関することなど(全校)



吉田方の歴史学習



環境学習



校区探検、見学

親しむ

- ・ 親子ふれあい活動・・・シジミとり等(2年)
- ・ 豊川マラソン(全校)
- ・ 昔遊びの伝承(1年)
- ・ 祭りへの参加・・・神楽・太鼓(希望者)
- ・ 福祉施設訪問(5年)



福祉施設訪問



親子ふれあい活動

- ・ 豊川クリーン(6年)
- ・ 津波講座(全校)
- ・ 津波避難訓練(保小合同)
- ・ 交通パレード(小中合同・地域連携)
- ・ 校区防災訓練への参加(地域連携)

守る



豊川クリーン